

令和 8 年 2 月 9 日

株式会社博報堂

特別委員氏名 山野 元気

## 委嘱業務完了および実績報告書

資源エネルギー庁「令和 7 年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業（エネルギー教育推進事業）地域におけるエネルギー教育実践事業」における令和 7 年 6 月 1 日に委嘱された内容について、委嘱業務の完了と実績を以下の通りご報告いたします。

## ・委嘱概要

特別委員氏名	山野 元気
委嘱期間	令和 7 年 6 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
実践タイトル	

## ・実施事項

大阪・関西万博の会場において、小学生から一般の来場者を対象に、「エネルギー落語発電お好み焼き横丁・電力バランスゲーム体験」の実演を行った。日本の伝統的な話芸である落語を通して、楽しみながら日本の発電方法や電源構成について理解を促すとともに、電力バランスゲームを体験することで、実感を伴いながら日本のエネルギー事情について学ぶ機会とした。エネルギーの大切さや環境問題、持続可能な社会について、専門的になりすぎることなく、小学生から一般の来場者まで誰もが親しみやすく理解できる内容となるよう工夫した。

また、本事業の実践協力者には、エネルギー落語の実演に参加してもらい、その内容をもとに「エネルギーかべ新聞」作成の指導にあたってもらった。実践協力者を中心に校内でのかべ新聞作成を推進した結果、200 件を超える応募があった。実践協力者は、児童に対してエネルギーの視点を持って情報を整理する方法や見出しの付け方、伝えたい内容を分かりやすく表現する方法などについて助言・指導を行い、児童の主体的な学びを支援した。



・成果

落語という日本の伝統的な話芸と、電力バランスゲームを組み合わせた体験型の取組により、小学生から一般の来場者まで、幅広い年代が日本の発電方法や電源構成について関心を持ち、主体的に学ぶ姿が見られた。特に、電力バランスゲームを通して、発電量が多すぎても停電になることを知り、調整や電源構成のバランスの難しさを実感を伴って理解することができ、エネルギー問題を身近なものとして捉える学びにつながった。

また、「エネルギーかべ新聞」作成においては、実践協力者を中心に校内で取組を推進した結果、200件を超える応募があり、児童の高い関心と学習意欲を引き出すことができた。実践協力者による継続的な助言・指導により、児童はエネルギーの視点を持って情報を整理し、見出しや構成を工夫しながら分かりやすく表現する力を高めることができた。これらの活動を通して、児童の主体的な学びや思考力・表現力の育成に寄与した。

さらに、大阪・関西万博という多くの人が集まる場で実施したことで、エネルギー環境教育を国際社会に発信する機会となり、エネルギー環境教育の意義を広く伝えることができた。

・今後への課題

一方で、来場者や児童の理解度や関心には幅があり、内容の難易度や説明の量について、十分に対応しきれない場面も見られた。今後は、対象に応じた説明の工夫や、補足資料・視覚的教材の充実など、より多様な参加者に対応できる改善が必要である。

また、校内でのかべ新聞作成が活発に行われた一方で、応募数の多さにより、内容の質にはばらつきがあった。

また、個々の作品への十分な振り返りや共有の時間を確保することが難しかった。今後は、発表の機会や相互に学び合う場を設けるなど、学習成果をより深めるための時間的・方法的な工夫が課題である。